

令和元年度 下永谷地域ケアプラザPDCAシート_公表用
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

下永谷地域ケアプラザの圏域エリアの人口は18,999人(H30.9)、高齢者人口は5,284人、高齢化率は27.81%です。孤立傾向や認知症高齢者、終末期、精神疾患等、様々な相談も増えています。地域住民や民生委員、医療機関など関係機関と協力体制を構築し、支援していきます。気軽に立ち寄れる福祉保健活動の拠点としての役割を幅広い年代層の方に周知し、福祉のまちづくりを推進していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域に出向きケアプラザの役割や行なっている事業等について、チラシを配布し説明を行なうとともに、「ケアプラザ通信」を定期的に発行し、地域住民や関連施設などに配布・掲示し、情報発信を行ないます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	区役所や関係機関と連携し、子ども、高齢者、障がい児者と地域とのつながりづくり、当事者同士の交流の場として支援していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	近隣介護事業所等に地域貢献状況の把握調査を行ない、地域のニーズとマッチングできるようにしていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ご利用者が主体的に介護予防に取り組めるような内容のケアプランを作成し、理解が得られるよう十分な説明を行ないます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ケア会議では、多様な「見守り」のあり方をテーマに、地域・医療・福祉が連携しやすい仕組みについて検討します。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度は、地域との繋がりを重点目標にした結果、子ども、高齢、障がい児者への地域支援を、様々な近隣関係機関とともに行いました。
【下永谷地区】6月の意見交換会や9月の地域防災拠点訓練は障がい児者とその家族数名が参加し、顔の見える関係ができました。「地域ケア会議」の定期開催や「協議体」の発足で食事会や買い物ツアーを地域住民と協働で実現しました。
【永谷地区】支え合いネットワークや福祉連絡会、たすけあい広場では、3つの地域ケアプラザが協働で支援しました。
【永野地区】5つの地域ケアプラザが協力し、年2回の全体会議を行いました。また、単会ごとの会議やサロンに出向き、地域課題と支援について情報を共有しました。

区からのコメント

地域の意見交換会におけるつながりにより、障害児とその家族が地域防災拠点訓練への参加につながりました。様々な課題が見え、その課題を地域で活動されている方々と共有できたことは、当事者家族と地域活動者の双方にて良い成果になりました。今後も、地域とのつながり、関係機関とのつながりを意識しながらともに取り組んでいきましょう。
また、5職種が連携しながら各地区の支援が進んでいますが、複数の地域ケアプラザが関わる地区もあるので、地域ケアプラザ間の連携を意識していきましょう。